

ごあいさつ

平素より、私ども南都銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび皆さまに平成22年3月期の業績や当行の取組みなどをお伝えするため、「ミニディスクロージャー誌／第122期営業のご報告」を作成いたしました。ご一読いただきご参考にしていただければ幸いに存じます。

わが国経済の状況は国内のデフレの状況や欧州を中心とした海外の金融経済動向に注意する必要があるものの、輸出や生産が回復に向かうなか設備投資も概ね下げ止まるなど景気に持ち直しの動きがみられるようになりました。また奈良県を中心とする地元経済につきましても、厳しい状況のなかにも一部に上向きの動きがみられます。

こうした環境のもと当行の業績は、有価証券関係損益の大幅な改善や適切な信用リスク管理による与信関連費用の減少により、7期ぶりに損失計上となった前期から復調し、順調に回復を遂げることができました。

さて本年は710年の平城京遷都から1300年の節目にあたり、年間を通じて奈良県全域を舞台に国家的事業「平城遷都1300年祭」が開催されています。メイン会場である平城宮跡会場の入場者数が、当初見込みより2か月以上早い5月末の時点で100万人を突破するなど大変好評を博しています。来年以降も継続して多くの方々にご来県いただき奈良県全体の活性化につなげられるよう、当行は地元の金融機関としてこの事業を積極的に応援してまいります。

当行は、長期ビジョン「さらなる企業価値の向上をめざして～地域とともに成長する銀行～」をテーマに、地域における金融円滑化はもとより、コンプライアンスやお客さま保護の徹底、お客さま満足の向上、環境保全・社会貢献活動など、今後ともさまざまな分野において社会的責任を果たす所存でありますので、今後ともより一層のお引き立てご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役頭取

植野康夫